

淀の糸

平成28年 3月 吉日

大淀中学校 校長 谷尾 憲三
明親小学校 校長 吉見 隆史
美豆小学校 校長 高嶋 登

大淀学区小中一貫教育「人権教育広報誌」 大淀中学校区 3校人権教育部会 不定期刊

梅一輪の暖かさを肌におぼえる頃となりました。日頃は大淀中学校区小中一貫教育推進にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて大淀学区「学びのルール」に対する児童・生徒の意識も少しづつ定着してまいりました。本広報誌では、小中3校の人権教育の取組や学習内容を紹介させていただきます。大淀学区3校は、校区で学ぶ児童生徒が軌を一にして「人を大切にする心」を育てる取組を続けています。

ご家庭や地域におかれましては、家庭や地域での子どもたちへの見守りの中で今までと変わらずご理解とご協力をいただけますようよろしくお願ひいたします。

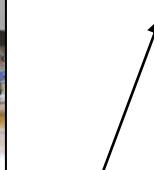
人権学習・ヒューマンタイム講演会 <大淀中学校>

大淀中学校では、人権月間である12月に各学年のテーマに沿って人権学習を行っています。また、ヒューマンタイム講演会も実施して学習を深めています。

1年生は障害のある人の人権をテーマに、体験を通して障害のある人の不便さやそれを介助することの大切さを感じ取り、障害についての理解を深めるとともに障害のある人の思いや周囲で支えている人の願いを知ることで、誰もが暮らしやすい環境を考えていく学習をしました。アイマスク体験・車椅子体験では改めて身体が不自由であることの困りや大変さを痛感した様子でした。また足の不自由な方々の講演やドキュメント映像での学習を通して、「勇気を出して声をかけることの大切さ」を学びました。最後には誰もが幸せに暮らせる環境(社会)にするために、街のバリアフリーやユニバーサルデザインについて学び、人に対して安全で優しいモノを自分たちでも考案することができました。

2年生では、「多文化共生」をキーワードに、来日して生活する人々との関わりを考えました。日本社会における異文化や他民族への差別に関する問題の解決に向けて主体的に考え行動できるようにするために、在日やニューカマーの人々の現状や歴史などの具体例を、映像や資料を通して生徒に問題提起しました。生徒からは、それまで知らなかつた現実に驚く意見や、相手の立場に立っての意見、差別的な日本人の行動や考えが理解できないという意見があり、今後の行動選択を考えるきっかけになりました。

3年生では、「部落差別をはじめとするあらゆる差別を見抜き、その不当性を許さず、人権尊重の視点で考える力を付ける」ということに重点を置き学習をしました。新聞や京都市民意識調査の「結婚・根強い差別意識」という資料を通して部落差別をはじめとする差別が現在も根強く残ることを知り、その不当性を考えました。



また部落解放の歴史として、全国水平社を取り上げ差別に立ち向かった人の歴史とその思いや願いを知りました。最後に、京都市のある中学校の差別解消への取り組みを取材した映像を通して、身近な問題としてとらえ真剣に考え学習してくれました。卒業後も様々な差別や人権問題に出会ったときに、冷静に考え方で行動できる大淀中学校の生徒であってほしいと願います。

さらに12月2日のヒューマンタイム講演会では、「共に生きる心の大切さ」に目を向け、自己のあり方や生き方を見つめ直し、差別や偏見のない社会の実現に向け努力する態度を育てることをねらいとして、今年度はNPO法人 京都コリアン生活センターエルファ事務局長の南 琢賢(ナム ソンヒョン)さんから「一歩を踏み出す勇気をもとう」という内容でご講演いただきました。在日コリアンの今に至る歴史と差別の現状だけでなく、ご自身が活動されている中でいかに相手の立場に立って考えられる気持ちや言動が、閉ざされた気持ちを開けられることにつながるのかを教えていただきました。

最後にこれらの人権学習を通して、人と人が関わっていくときに、まずは決めつけや想像だけではなく勇気を持って相手に声をかけ、寄り添い考えることできっとお互いに優しくなり、信頼もできるということを生徒たちは感じてくれたようでした。

12月人権月間の取組<明親小学校> 一人権を考えることから始まる住みよい社会ー

だれもが心豊かに、幸せに暮らせる社会を築いていくために、わたしたちは自分と同じように自分以外の全ての人の人権も大切にする必要があります。人には性別のほか、人種や民族、生まれ育った環境、心身の特性など様々な違いがあり、個性があります。その違いや個性が社会の中で生かされ、ひとり一人が輝いて生きられることが「人権を尊重する」ということにつながるのではないかでしょうか。各学級では、日頃から「あなたも、わたしも、あの人も、『みんな大切な人』…」という意識を大切にした学級づくりを進めています。この人権月間を機会に、改めて、人権を守り、ひとりひとりを大切にしていくために何ができるのか、何をしなければならないのかを考え、取り組んでいます。

人権集会 ~考え方、友だちのこと 自分のこと~

人権月間の取組として、明親小学校では、毎年、低・中・高学年ごとにたてわりグループを利用して、人権について考える集会活動を実施します。「友だちを大切にできているか」「自分は友だちに大切にされているか」「これからどんな友だちでいいか」など、学年に応じて、積極的に話し合い活動や作文発表などを行っています。

【低学年の人権集会】



【中学年の人権集会】



人権学習～（生徒会ユニセフ募金）＜大淀中学＞

1月24日の評議委員会にて生徒会長よりユニセフ募金について提案がなされました。

同じ世代の子供達に目を向け実情を知ることで自分自身の生き方も見つめ直す機会となり、ユニセフの活動を通じて自分たちにもできることがあることを知り活動する姿勢が大切です。そして評議委員全員がしっかりとその趣旨を理解・賛同し大淀中学校の生徒会活動として取り組むことが決まりました。募金活動をアピールするポスターを制作したり、各クラス終学活時に活動内容の説明と呼びかけを行なったりしました。12月3・4日の両日朝、校門付近にて募金活動を行いました。前日の呼びかけも甲斐あって、募金を用意してくれたたくさんの生徒たちが気持ちよく募金箱に寄付してくれている姿を見て、本当にうれしい気持ちになると同時に心の成長を感じることができました。また、4日の放課後には淀駅周辺に出向いて地域の方々へも呼びかけ募金活動を行いました。生徒たちは一生懸命声をだし、通りを歩く人々に募金のお願いをしてきました。中には何十年も前の大淀中学校の卒業生だという大先輩が、後輩がこんなに頑張ってくれているのは誇らしいと喜んでくださったり、保護者の方や顔見知りの高校生の先輩などが『頑張って』と笑顔で声をかけて下さったりと、生徒たちも大淀という地域のやさしさにこころを温めることができ、本当にやってよかったと実感できる素晴らしい活動となりました。募金活動に協力して下さったたくさんのみなさん、本当にありがとうございました。

美豆小学校 人権学習の取り組み ＜美豆小学校＞

「人を大切にする心」は人間誰もがもつことができる大切な心です。その心をもてるよう に、その心をよりあたためるように学んでいくことが人権学習です。人権学習は何気ない日常の中で学ぶことがたくさんあります。しかし、意識をもって生活していかなければ、その大切さに気付かずには過ごしていることが多いのではないかでしょうか。日常生活に正しい人権感覚を当てて考えることで、「人を大切にする心」を育てることができると考え、美豆小



学校では、「美豆なかよしタイム」と題して人権学習に取り組んでいます。総合育成教育・男女平等教育・外国人教育・国際理解教育・健康教育などの人権に関わる内容から、毎月テーマを決めて全校が同じテーマで行っています。1年生から6年生まで毎年取り組むことで、差別や偏見がなく、みんな平等に、なかよく過ごせる社会になるにはどうしていくとよいのか自分の意見をもつことができるよう取り組んでいます。

また、子どもたちの人権学習への関心が高まるよう、その時間に学習したことや子どもたちの感想文を職員室前の掲示板に学年ごとに掲示し、交流できるようにしています。その他にも、道徳の学習や道徳教育の中でも子どもたちの人権感覚を育てていけるよう力を注ぎ、普段の生活の様々な場面で「人を大切にする心」について考えられるよう取組を進めています。

12月人権月間 「仲間の木」の取り組み ＜美豆小学校＞

12月の人権月間には「みんななかよし」というテーマの下、学級の仲間一人ひとりの良いところについて考える「仲間の木」を作成する学習に取り組みました。「人を大切にする心」には『友だちを大切にする心』だけでなく、『自分を大切にできる心』も大切です。その2つの心を大切にできこそ「人を大切にできる」と言えるのではないでしょうか。

「仲間の木」の学習には、その二つの心に触れることができると思います。子どもたちはこの学習が大好きで、笑顔になる時間になっています。授業の中で、仲間の木が完成すると、子どもたちはとても嬉しそうに眺めていました。友だちの良いところを見つけることで『友だちの大切さ』を、友だちから自分の良いところを見つけてもらうことで自分だけでは気づくことのなかった『自分の大切さ』を感じていました。この学習だけでなく、日常の様々な人との関わりの中で『相手の良さ』に目を向け、『自分の良さ』を感じることができるような心をもってほしいと願っています。



人権学習 心の広場学習 ＜明親小学校＞

明親小学校では、毎月テーマを決めて、全年年が同じテーマで道徳及び社会の学習、または学級活動で取り組んでいます。その時間に学んだことを掲示板「心の広場」に掲示し、児童集会で作文発表をして、交流しています。

「心の広場」の前で掲示物を一生懸命読んでいる子どもたちの姿、作文発表での感想を交流している姿から、全校で学び合い、考えを深め合っていく「心の広場学習」をますます充実させていきたいと思います。

